

上田・長野地域の水道の未来のために

～安全、安心な水道水を将来の世代へ

確実に引き継ぐには、どうすればいいのでしょうか～

～はじめに～

上田・長野地域の50年後の給水人口は、現在より37%減少し、高度成長期始めの昭和30年代と同等の人口規模まで減少すると見込まれます。

また、令和6年能登半島地震、豪雨災害では、水道・下水道施設が大規模に被災し、断水が広範囲で長期間続きました。今後さらに、地震や水害などの災害への備えが必要とされています。

このような状況であっても、皆さんの料金によって成り立つ水道事業は、健全経営が求められていることから、本年4月に県企業局、長野市、上田市、千曲市、坂城町の首長等が協議会を設置し、検討協議を重ねています。

これまでの検討協議状況をまとめましたので、以下をご覧ください、「上田・長野地域の将来の水道事業をどうしていくか」について、ご意見、ご質問をお寄せください。

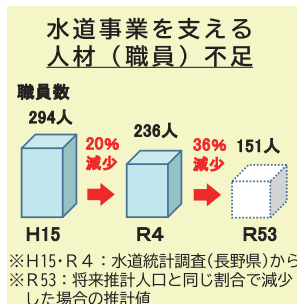
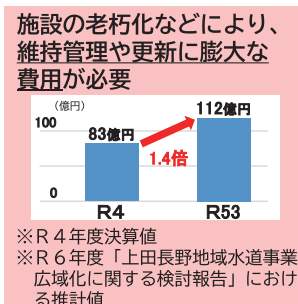
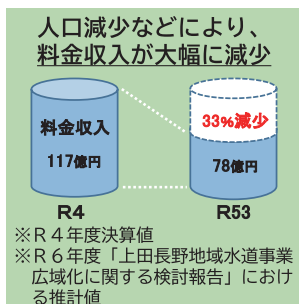


Q1 将来にわたって安全・安心な水道水を使っていくには、どんな課題があるのかな？

A1 人口減少による収入の減少、施設の老朽化などによる維持管理費の増加、人材の不足、頻発する大規模災害への対応といった課題があります。



～詳しくは～



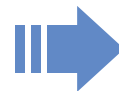
大規模災害への対応



現在の状況(R5年度)

※赤字は全国平均以下

事業体	浄水施設 経年化率 (%) (低い方がよい)	浄水施設 耐震化率 (%) (高い方がよい)	管路 経年化率 (%) (低い方がよい)	管路 耐震化率 (%) (高い方がよい)
長野市	2.3	62.9	30.2	16.4
上田市	55.6	13.7	20.0	11.0
千曲市	0.0	0.0	14.7	7.8
県企業局	0.0	100.0	11.0	22.5
(参考) R3 全国平均	6.0	39.2	22.1	19.0



地域の水道の未来は？



Q2 課題があるのは分かったけれど、今後も安全・安心な水道水を使っていくためには、将来の上田・長野地域の水道はどうあればいいんだろう？

A2

- ・現在、上田・長野地域には、各市が経営する水道と、県企業局が経営する水道があります。
- ・人口がさらに減少していく中、個別の経営では管路の相互の接続がないため、水の融通ができず、使用水量の減少に伴う主要浄水場の大幅なダウンサイジングや、非常時の代替性の確保が難しい状況にあります。
- ・主要な浄水場間を連絡管でつなぎ、基幹管路の二重化などの整備を行い、高低差を活用して管路・施設を広域ネットワーク化することで、一体的な水の融通を可能とする事業の統合を検討しています。
- ・広域的な水運用の目的は、上田・長野地域の強靱かつ効率的で、持続可能な水道事業を確立することにあります。



～詳しくは～

将来を見据えた理想とする水運用計画

災害に強く、 効率的で持続可能な水道

効率性の向上

- ・主要な浄水場を最大限に活用
- ・上田－長野間の高低差を有効活用（水の自然流下）
- ・人口減少を見据えた施設規模へのダウンサイジング、統廃合

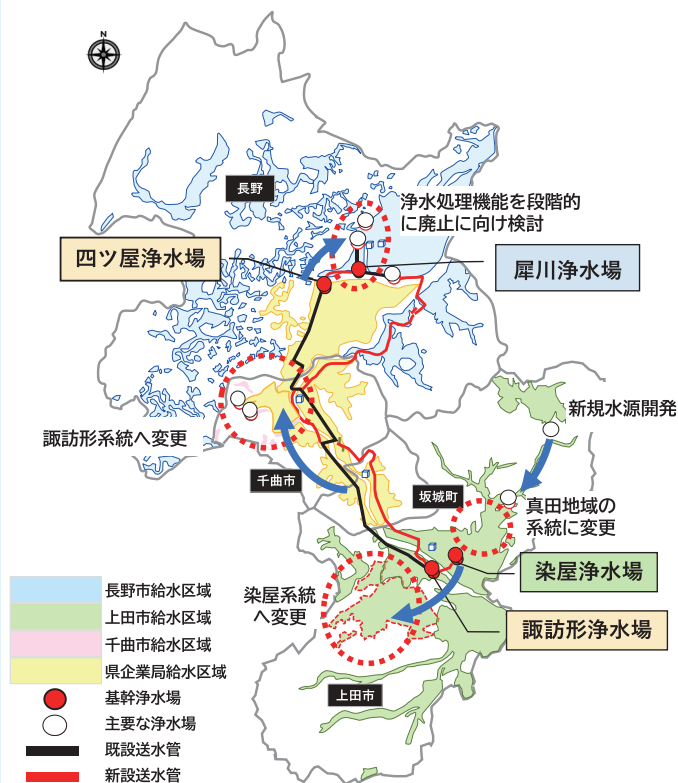
代替性・多重性の確保

- ・主要な浄水場を連絡管でつなぎ一体化
- ・千曲川兩岸への基幹管路の二重化

強靱性の向上

- ・基幹施設の耐震化促進と老朽化施設解消

左記の点から考えた最適な水運用計画



理想の姿を実現するための施設整備とは？



Q3 事業を統合して施設を整備するって
どのように整備するのかな？

A3

・上田・長野地域の基幹となる水道管を接続することで、水道広域ネットワーク化を図ります。お互いに水が融通可能となり、施設の統廃合や効率的な維持管理、災害時のバックアップといった代替性を確保できます。

主な整備内容は ① 主要な浄水場間を結ぶ連絡管や送水管の二重化
② 各市の浄水場の更新、耐震化及び段階的な統廃合
③ 新たな水源開発や広域監視設備の整備

です。



～詳しくは～

施設整備の効果

(事業費約1,119億円：R8～R16年度)

※現時点で予定している事業費で、確定した額ではありません。

長野市

- ① 主要な浄水場間を結ぶ、管路の整備により水を融通するなど運用の向上と非常時対応力を強化
- ② 将来の需要に応じた施設の廃止

千曲市

- ① バックアップ体制構築、非常時対応力の強化
- ② 脆弱な水源や老朽化した浄水場の廃止

坂城町

- ① バックアップ体制構築、非常時対応力の強化
状況に応じた配水が可能に

上田市

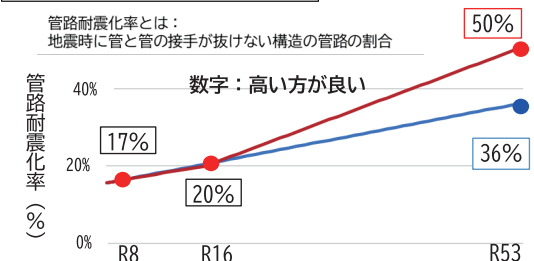
- ①③ 新規水源開発と新たな給水区域の見直し
- ② 基幹浄水場の非常時対応力の強化

全体

老朽化施設解消と耐震化促進による強靱性の向上

○ 事業により見込まれる耐震化率の推移

— 個別経営：更新率 0.41% (過去5年平均)
— 統合時：更新率 0.80% (補助期間0.35%)



※R16年度までは統合に伴う管路や施設の新設を優先して行い、それ以降に、既存の管路の耐震化に取り組みます。

施設整備計画図



長野市運営 県企業局運営 千曲市運営

上田市運営 新設管 既設管

※坂城町はすべて県企業局が運営しています



Q 長野市の水はどこからくるの？

A 現在、市の北部は市内で取水しておりますが、市の南部は県で運営しており、川中島・上田市で取水しています。

統合しても普段皆さんがお使いになる水は大きく変わることはありません。



経営や料金はどうなるの？



Q4 施設の整備ってお金がかかるけど
経営や水道料金はどうなるの？

A4

- ・水道事業は、必要な経費を料金で賄う、独立採算制を原則として経営することとされています。
- ・連絡管の整備や、基幹管路の二重化、基幹施設の耐震化促進や老朽化施設解消といった投資には多額の費用がかかります。
- ・事業統合した場合、広域化事業の施設の整備に対して、国からの財政支援を最大限に活用しますと、水道料金を抑えながら施設を整備することができると試算されました。
- ・広域化による施設の統合や効率的な人員配置によって、費用の削減を図り、水道料金の値上げが抑制できると見込んでいます。
- ・水道料金収入や国の補助金を活用して、事業費とバランスをとりながら健全な経営に努めてまいります。



～詳しくは～

事業統合した場合の料金(財政)の効果

将来的な水道料金のシミュレーションを行ったところ、すべての事業体で、統合した場合の方が将来的に値上げを抑制できる効果が表れました。

(広域化による統合効果が最大限見込める場合のシミュレーションをもとに作成しています)

供給単価の比較(1m³当たり)

	R4年度	R53年度	
		個別経営時	事業統合時
長野市	213.4円	394.6円	▶ 363.1円
千曲市	175.1円	557.5円	
上田市	173.4円	394.2円	
県企業局	174.2円	384.0円	



※R4年度時点での推計を基に作成した資料であり、将来の金額を保証するものではありません。

水道料金は定期的な見直しが必要であるとされています。

R8年度からR53年度までの46年間で総額574億円の料金抑制効果を見込んでいます。このほかにも、水道事業を支える専門人材技術の継承や育成面でもメリットがあり、災害時などに対応するための体制の充実が図られます。

どのように実現するの？(基本計画)



Q5 事業の統合はどんな形でやっていくの？

A5

- ・長野県、長野市、上田市、千曲市、坂城町で「企業団」を設立し、水道事業を運営していくことを計画しています。
- ・「企業団」とは長野市など自治体が連合して設立する特別地方公共団体のことです。(民営化のことではありません)
- ・企業団になった場合の基本方針・事項を基本計画素案としてまとめました。水道事業の統合(広域化)について市民の皆さんと一緒に考えていきます。
- ・今後の検討協議にあたり、皆さんからのご意見を反映させてまいります。



基本計画素案の内容(抜粋・簡略版)

基本計画素案のうち、施設整備や財政以外の部分を簡略化して抜粋しました。
(原文はご希望の方に郵送する他、市ホームページで掲載しています)



1.1 総務・経理・営業関係

- (1) 長野県、長野市、上田市、千曲市及び坂城町で「企業団」を設立し、将来にわたって民営化によらず企業団により事業を運営します。
- (4) 料金や届出について、統合前の受付窓口は、当面継続しサービスの向上に努めます。

2.1 組織体制

- (1) 企業団の意思決定は、企業団議会において行います。
- (4) 企業団の管理運営に関する重要なことは関係の県・市・町の代表者が集まって協議します。

3.2 水道料金

- (1) 水道料金の統一は、物価変動の状況などを定期的に検証しながら、早期実施を目標とし、統一までは、現行の料金体系を維持します。
- (2) 健全な水道事業の運営を持続するため、4年に一度の水道料金の見直しを原則とし、将来の更新費用などを見込んだ収支バランスの取れた水道料金とします。

4.1 広域化の時期

- (1) 関係の県・市・町が基本計画に合意したあと、企業団の設立準備を開始します。
企業団の設立時期は、合意後2～3年を目途とします。

5.1 下水道事業

- (1) 下水道との連携について、企業団設立後も関係の県・市・町と研究していきます。
- (2) 下水道との共通業務(検針や料金徴収、窓口サービスなど)は長野市、上田市、千曲市の上下水道が一体組織だったことを踏まえ、企業団が委託を受けて事務を行います。

皆さまのご意見をお聞かせください



Q6 意見を伝えたいのだけど・・・



A6

基本計画(素案)は、事業統合する場合の基本的方針などこれまでの検討協議してきた内容について、まとめたものです。

より良い水道事業を構築し将来世代に引き継ぐことができるよう、考えています。

今後、この地域の将来の水道事業の方向性を決定していくにあたり、市民の皆さまの様々なご意見をお聞きかせください。(令和7年1月20日までに提出ください)

ご意見は、次のページの用紙による郵送または、電子申請で提出していただくことができます。



電子申請は
こちら

※ご住所やお名前は、郵送での資料配布を希望される方のみ、お書きください(未記名で提出が可能です)

※いただいたご意見には個別の回答はできません。ご意見の反映状況は、後日、市ホームページ等でお知らせします

市民説明会を開催します

私たちが検討を進めている事業統合(広域化)の現時点での検討状況について、説明会を開催いたします。また、皆さんからのご意見もお聞きしたいと考えています。

多くの皆さまに参加していただき、ご意見をお聞かせください。※事前のお申込み・予約は不要です。

- ▶と き／12月19日(木)19:00～
- ▶ところ／長野市松代支所2階



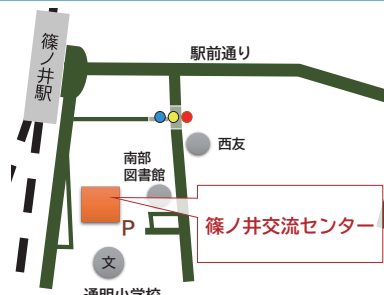
- ▶と き／12月22日(日)14:00～
- ▶ところ／長野市芸術館展示ホール(市役所第一庁舎1階)



- ▶と き／1月10日(金)14:00～
- ▶ところ／柳原交流センター大学習室



- ▶と き／1月15日(水)14:00～
- ▶ところ／篠ノ井交流センター(多目的ホール)



詳しい説明を聞いてみたい地区、団体がありましたらご連絡ください。



上下水道局
ホームページ

長野市上下水道局

総務課 ☎ 026-224-5070(直通)
☎ suisomu@city.nagano.lg.jp
水道整備課 ☎ 026-224-5073(直通)
☎ suiseibi@city.nagano.lg.jp
FAX: 026-224-5114(共通)

ご意見をお聞かせください

- ☐ 施設の整備に関すること
- ☐ 経営や料金に関すること
- ☐ 基本計画に関すること

そのほか、「水道」や「水」に関連してメッセージがあれば、お書きください。

※ご住所やお名前は、郵送での資料配布を希望される方のみ、お書きください(未記名で提出が可能です)。
※いただいたご意見に個別の回答はできません。
ご意見の反映状況は、後日、市ホームページ等でお知らせします。

住 所 〒								基本計画(素案)の全編の 配布をご希望の方は○を お願いします。 ご自宅まで郵送します。		
氏 名		19歳 以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳 以上	
										
電 話 番 号						受付No.				

— (④ やま折り) —

料金受取人払郵便

長野中央局
承認

4320

差出有効期間
2025年1月
20日まで
〈切手はいりません〉

長野市大字鶴賀緑町 1613番地

長野市上下水道局 行

令和7年 1月20日 までに郵便ポストへ

3
8
0
8
7
5
0

— (③ やま折り) —



皆さまのご意見お待ちしております！

(のりしろ)

(のりしろ)

— (② やま折り) —

FEEL NAGANO, BE NATURAL

この街で、わたしらしく生きる。長野市

① 切り取り